



文部科学省「大学の世界展開力強化事業」+JST「さくらサイエンスプログラム」
メコン諸国と連携した地域協働・ドミトリー型融合教育による理工系人材育成



メコン諸国大学との学生交流プログラム 2021 オンライン（冬・春） 新潟大学からの参加者募集について【学部生・院生ともに対象】

10月28日（木）正午締切

新潟大学・工学力教育センターでは、メコン地域4か国（タイ、カンボジア、ラオス、ベトナム）の大学との学生交流プログラム 2021 オンライン（冬・春）に参加する学部生および院生を募集します。

メコン諸国大学との学生交流プログラムは、G-DORM 事業として、海外渡航を伴う留学交流プログラムを計画していましたが、コロナ禍による海外渡航制限が続く現状に鑑み、本年度は冬（第4ターム期間）と春（10日間集中型）にオンラインで実施することとなりました。

G-DORM の学生交流プログラムは、新潟地域企業との協働によるグループワーク・インターンシップ（略称：GW インターンシップ）を主として、メコン諸国の学生と新潟大の学生が、専攻・学年・国籍混合の小グループとなってグループワーク取り組みます。今回は、こうした国際交流と課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）を組み合わせた海外学生との交流プログラムを「国際オンライン協働学習（COIL：Collaborative Online International Learning）」として行います。単なる英語学習ではなく、実践的 PBL として計画されており、経済社会活動の急速なグローバル化を背景とした社会的要請に対応しています。

本プログラムに参加するメリット：少子高齢化（人口減少）による国内市場縮小や、アジア諸国の低賃金な労働力などから、日本の理工系地域企業でもグローバルな視点から課題を発見・解決できる人材が必要とされています。このプログラムに参加することで、以下のようなことが期待できます。すなわち、研究活動に有益であるのみならず、将来のキャリア活動での自己アピールにも有用です。

- 新潟の地域企業がグローバル化の流れの中で、どのようにして成長・高度化し、国際展開を図っていったのか、というプロセスについて、企業経営者から直接的に話を伺いながら学ぶこと。
- メコン諸国の学生とのオンラインでのグループワークを通して、国によって異なる課題やニーズについて把握し、その課題解決や地域・産業創生についてリアリティをもって学ぶこと。
- メコン諸国の学生とのオンライン交流により、異文化理解や国際協調性、英語コミュニケーション能力が向上すること。

なお、活動状況や提出されたレポートを総合的に判断し、一定の評価を得た学生には、単位（原則、2単位）が付与されます。

コロナ禍が改善されたら、奨学金申請等が可能な魅力的な留学事業が再開される見込みです。本プログラムは、オンラインでの国際的な学生交流を経験することで自信がつき、今後、実際に留学する際の有用な知識や経験を得ることができます。また、昨今、海外関係業務のオンライン化が進み、ITを活用して海外事業を運営する能力も重視されています。将来を見据え、ぜひ積極的に本プログラムに応募してください。

1. 募集人数及び募集プログラムの概要

今回募集するプログラムは、第4ターム期間中に実施する(1)冬期プログラムおよび春休み期間中に短期集中で実施する(2)春期プログラムです。なお、欠員が出ない限り、本年度の募集は、今回限りです。

(1) 冬期プログラム（第4ターム期間）

- 1) 募集人数：12名。
- 2) オンライン活動期間：2021年12月2日～2022年1月27日（第4ターム期間）
なお、上記に加え、11月中に1.5時間程度のオンライン事前説明会があります。
- 3) 活動概要：
 - ①オンライン活動前の事前説明会および自主学習による事前課題（11月中）
 - ②オリエンテーション、各種講義、及びワークショップ（12/2 - 12/13）
 - ・ガイダンス、アイスブレイクによるチームビルディング、新潟産業やメコン文化に関する講義、インターンシップ先企業の調べ学習や異文化理解のグループワーク等を実施する予定です。
 - ③オンラインインターンシップ（12/14 - 1/21、冬休みを除く4週間）
 - ・企業との活動（毎週1～2回程度）、大学教員参加の報告会（毎週1回程度）、自主的なグループ学習（毎週2回程度）、日報作成を組み合わせたインターンシップの予定です。活動日時は、企業や大学等との協議により決定されますが、原則として、時間帯は5限～6限（16:25-19:30）時の間で、各回1～1.5時間程度の見込みです。
 - ・企業との活動は、（公社）つばめいととの仲介により、燕市内の企業のご協力を得て実施します。燕市は、全国でも有数の金属加工の産業集積地域で、多様な金属製品を製造・輸出しています。
 - ④最終発表会および振り返り学習（1/25および1/26、各3時間程度）
 - ⑤オンライン活動後の事後学習課題および工学力教育センター学習成果発表会での発表（2月中）
- 4) 特記事項：
 - ・全活動回の参加が原則です。やむを得ず欠席が生じる場合は、欠席の活動回の内容理解を促すため、文献詳読、動画視聴、レポート提出といった代替課題を検討します。ただし、企業との活動や大学教員参加の報告会の欠席は、極力避けてください。
 - ・海外の学生とのグループワークはオンラインで実施しますが、新潟大学の学生同士の活動は、学習効果を高めるため、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、対面での活動も実施する予定です。ただし、調整結果や、今後の感染症拡大が懸念される等の状況により、一部あるいは全ての活動がオンラインになる可能性もあることを予めご承知ください。

(2) 春期プログラム（春休み期間短期集中）

- 1) 募集人数：12名。
- 2) オンライン活動期間：2022年2月16日～2021年3月2日（休日除く毎日）
なお、上記に加え、1.5時間程度のオンライン事前説明会があります。
- 3) 活動概要：
 - ①オンライン活動前の事前説明会（1.5時間程度）および自主学習による事前課題
 - ②オリエンテーション、各種講義、及びワークショップ（2/17 - 2/18）
 - ・ガイダンス、アイスブレイクによるチームビルディング、新潟産業やメコン文化に関する講義、インターンシップ先企業の調べ学習や異文化理解のグループワーク等を実施する予定です。

③オンラインインターンシップ (2/21-2/25)

- ・インターンシップ先企業の国際展開に関する課題に対して、解決提案を考え、プレゼンを行うワークショップを実施。国際事業展開を行う複数社の新潟県内企業に協力を得る予定です。

④最終発表会のプレゼン作成，最終発表会および振り返り学習 (2/28 - 3/2)

⑤オンライン活動後の事後学習課題 (3月中)

4) 特記事項：

- ・ オンライン活動期間中の各日の活動時間は、休憩時間や自主ワークを除き、4.5 時間/日の見込みです。
- ・ 海外の学生とのグループワークはオンラインで実施しますが、新潟大学の学生同士の活動は、学習効果を高めるため、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、対面での活動も実施する予定です。ただし、調整結果や、今後の感染症拡大が懸念される等の状況により、一部あるいは全ての活動がオンラインになる可能性もあることを予めご承知ください。
- ・ 「最終発表会」は、G-DORM の6年間事業の最終シンポジウムと合同開催の予定です。

活動概要について、詳しくは、別紙の「Program Summary」を参照してください。

2. 参加費用

参加費は不要です。なお、昼食を要する場合は自己負担となります。(通常の講義と同じ扱い)

3. 応募に当たっての注意事項

応募に際しては、下記事項について必ず承諾の上で行ってください。

- 本プログラムでは活動報告やレポート等の課題を提出して頂きます。なお、本プログラム中の活動状況や、提出された課題を総合的に判断し、一定の評価を得た学生には、相応の単位(原則として、各プログラムそれぞれ2単位)が付与される予定です。
- 緊急事態がない限り、本プログラムの途中参加は認められません。
- 病気・けが等のやむを得ない理由がない限り、本プログラムの活動には、原則全て出席して下さい。
- 企業とのインターンシップ活動は、オンラインとはいえ、ビジネスマナーを守り、節度のある行動に励んでください。企業との活動において、怠慢な態度であったり、理由もなく遅刻・無断欠席をしたりした場合は、企業から中断を言い渡されることもあり得ます。
- オンラインでのグループワークなどでは、メコン諸国の大学生等との英語での討論となりますが、積極的に議論に参加する意欲をもって参加してください。
- メコン諸国の大学生との交流に際しては、各国の文化を尊重しつつ、行動してください。
- 学年担当(3年までの場合・工学部学生のみ)/指導教員(4年以上の場合)に本プログラムへの参加意志を予め伝えた上で、応募してください。
- 参加申込書において優先順位を付けることで冬期・春期の両方のプログラムの参加応募も可能です。この場合、例えば、第一優先の選考から万一外れた場合でも、第二順位以降のプログラムの選考対象に自動的に追加します。
- 本プログラム参加に当たって、英語力向上効果を測るため、プログラム開始前とプログラム終了後に TOEIC-IP (オンライン)を受験して頂きます。受験料は工学部が負担します。

- 本プログラムの活動の様子を撮影した写真・ビデオは、広報活用や、今後のオンライン国際交流プログラムの教材資料として活用させて頂くことに、予めご了承ください。
- 本プログラム終了後に G-DORM の改善・発展のための活動（説明会での経験談や経験学生としてのサポート、プログラム改善のためのフィードバック等）に協力を求めます。予め承知ください。

4. 応募方法

指定の参加申込書(表裏とも)に記入し、PDFとして保存したファイルを、**2021年10月28日(木)正午までに**、下記提出先のメールアドレスまで、メールにて提出してください。

【提出先】 g-dorm-j@eng.niigata-u.ac.jp

新潟大学工学部工学力教育センター国際教育部門（担当：中野）

※1枚の参加申込書で、両方の学生交流プログラムを同時に申し込むことが可能です。

5. 選考方法

(1) 書類選考・面接の実施

- 提出書類をもとに書類選考を行います。必要な場合はオンライン面接を実施します。面接実施の場合は、実施日時をメールにて連絡します。

(2) 採否の決定

- 提出書類や面接結果、英語スコア、学業成績をもとに、参加意欲や英語力などを総合的に評価して採否を決定します。

6. 単位について

参加学生には、レポートを提出していただきます。冬期・春期の各プログラムについて、活動状況や提出された課題等を総合的に判断し、一定の評価を得た学生には、以下のように単位を付与する予定です。

- 学部生の場合：原則として、工学部専門科目「国際テクノロジー（もしくはマーケット）・グループワーク・インターンシップ A」（2単位）。
※他学部の単位の取扱いについては、所属学部の学務係にご確認ください。
- 大学院生の場合：原則として、課程共通科目「国際テクノロジー（もしくはマーケット）・グループワーク・インターンシップ S」（2単位）。

8. お問い合わせ

工学部・工学力教育センター・国際教育部門の教職員にお気軽にお問い合わせください。

担当：中野（025-262-7290）、上田（025-262-7025）、馬場（025-262-7369）

メール g-dorm@eng.niigata-u.ac.jp

この交流プログラムは、G-DORM プロジェクトの一環で行われます。
G-DORM プロジェクトのホームページ・Facebook を是非ご覧下さい！

Homepage: <http://www.eng.niigata-u.ac.jp/~g-dorm/>

Facebook: <https://www.facebook.com/gdorm.niigata/>

ホームページ



Facebook



(参考) メコン諸国側の参加大学について

<p>王立プノンペン大学 (カンボジア)</p>   <p>1960年設立。理学部、工学部、開発学部、人文社会科学学部、教育学部の5学部と外国語研究所の1研究所を擁する総合大学で、カンボジアの教育・研究をけん引するリーディング大学。インターンシップなどの実践的教育にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>http://www.rupp.edu.kh/</p>	<p>ラオス国立大学 (ラオス)</p>   <p>1996年に設立されたラオス最大の国立の総合大学。11学部を擁する総合大学であり、ラオスの教育・研究をけん引するリーディング大学。理工系としては、工学部、農学部、理学部、建築学部、環境学部等の他分野を有する。ラオスに進出する日系企業との交流実績もある。</p> <p>http://nuol.edu.la/index.php/en/</p>
<p>チュラロンコン大学 (タイ)</p>   <p>タイで最初に創設された17学部を擁する総合大学。国際的なアジアの大学ランキング上位で、タイ国内でもランキング2位の教育・研究の拠点大学。日本の大学との交流は盛んで、多くの学生が受入派遣されている。</p> <p>http://www.chula.ac.th/en/</p>	<p>ハノイ工科大学 (ベトナム)</p>   <p>1956年に設立されたハノイ市の旧市街に位置する国立大学。17学部、8研究所、4リサーチセンターで構成され、ベトナムのリーディング大学の1つ。ベトナムの工学及び農学分野の教育・研究をけん引する中心的役割を果たしている。</p> <p>https://en.hust.edu.vn/home</p>

参考情報

本プログラムの概要説明動画

https://youtu.be/YKpa_LElewA

G-DORM Web サイト「学生の声」※昨年度のオンラインプログラム参加学生の体験談

<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/~g-dorm/contents/voice/?prog=outbound>

昨年度は、工学部・大学院自然科学研究科以外に、農学部、人文学部、法学部、創生学部から参加がありました。皆さんの参加をお待ちしています！

Program Summary for G-DORM Online Program 2021

A. Winter Program

1 Period of Program:

- From 2nd December 2021 to 27th January 2022 (excluding the period of pre- and post-study assignments).

2 Number of Students Looking for:

- RUPP: 3 students.
- NUOL: 3 students.
- CU: 3 students.
- HUST: 3 students.
- NU: 12 students.

3 Summary of Planned Activities:

Before the online activities

1) Pre-study Assignments: In Nov.

- **[Online guidance: 1.5hrs (1.5hrs x 1)]** Briefing of the program including how to use the online tools.
- **[Self-learning]** On-demand lectures, personal-statement making, online self-survey regarding the internship, self-competency check, etc.

During the online activities

2) Orientation, Lectures, and Group works for Online Internship: Dec. 2 to Dec. 13

- **[Online orientation: 1.5hrs (1.5hrs x 1)]** Review the purpose and schedule of the program, to build an international team.
- **[Online lectures: 1.5hrs (1.5hrs x 1)]** Introduction to Niigata regional industries.
- **[Online lectures: 0.75hrs x 4 univ., a total 3hrs. (1.5hrs x 2)]** Introduction to related topics of the online internship in each country/university.
- **[Group work: 4.5hrs (1.5hrs x 3) + self-group work]** Learn about society and industrial problems and the business of the internship company.

3) Actual Online Internship: Dec. 14 to Jan. 21

- **[Consultation by the staff of the company: 1.5hrs per week, a total of 4 weeks (1.5hrs x 4)]** Lectures by the company, and presentation on progress reports by students.
- **[Joint progress report session: 1.5hrs per week, a total of 4 weeks (1.5hrs x 4)]** Share the progress of activities by each group and faculty staff like a seminar.
- **[Individual group works: 1.5hrs x twice a week, a total of 4 weeks (1.5hrs x 8)]** Online group works.
- **[Activity report submission: every working day]** Individual activity reports.

4) Online Final Presentation and Reflection: Jan. 24 to Jan. 27

- **[Individual group works: 3.0hrs (1.5hrs x 2)]** Online group works for preparing final group presentation.
- **[Joint final presentation or forum: 3.0hrs (1.5hrs x 2)]** Final group presentation.
- **[Reflection WS: 3.0hrs (1.5hrs x 2)]** Final workshop for reflecting learnings.

After the online activities**5) Post-study Assignments: In Feb.**

- [Self-learning] Completion report, self-evaluation questionnaire, self-competency check, etc.

4 Activity Calendar:

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
22	Nov. 23 (Japanese holiday)	24	25	26	27	28
1) Pre-study Assignments: In Nov.						
29	30	Dec. 1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
2) Orientation, Lectures, and Group works for Online Internship: Dec. 2 to Dec. 13						
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
3) Actual Online Internship: Dec. 14 to Jan. 21						
27	28 (Seasonal holidays)	29 (Seasonal holidays)	30 (Seasonal holidays)	31 (Seasonal holidays)	Jan. 1	2
3 (Seasonal holidays)	4 (Seasonal holidays)	5 (Seasonal holidays)	6 (Seasonal holidays)	7	8	9
10 (Japanese holiday)	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
3) Actual Online Internship: Dec. 14 to Jan. 21 (continued)						
24	25	26	27	28	29	30
5) Online Final Presentation and Reflection: Jan. 24 to Jan. 27.						
31	Feb. 1	2	3	4	5	6
6) Post-study Assignments: In Feb.						

B. Spring Program

1 Period of Program:

- From 16th February 2022 to 2nd March 2022 (excluding the period of pre- and post-study assignments).

2 Number of Students Looking for:

- RUPP: 3 students.
- NUOL: 3 students.
- CU: 3 students.
- HUST: 3 students.
- NU: 12 students.

3 Summary of Planned Activities:

Before the online activities

1) Pre-study assignments:

- **[Online guidance]** Briefing of the program including how to use the online tools.
- **[Self-learning]** On-demand lectures, personal-statement making, online self-survey regarding the internship, self-competency check, etc.

During the online activities

The days and times of the online activities will include AM sessions and PM sessions for a total of 4.5 hours (excluding self-working time) every activity day in principal.

2) Orientation and icebreaker: Feb. 16

- Review the purpose and schedule of the program, to build an international team.

3) Inputs by practitioners and comparative discussions: Feb. 17 to Feb. 18

- Learn about society and industrial problems and the business of the internship company.
- Learn related topics of the online program in each country or university.
- Discuss the differences among countries related to the business of the internship company.

4) Repeated group works and presentations as PBL: Feb. 21 to Feb. 25 (Excluding Feb. 23)

- Carry out PBL activities dealt with a real problem of the internship company.
- Share ideas among students through practices of group presentations online.

5) Online final presentation and reflection: Feb. 28 to Mar. 2

- Prepare final group presentation slides.
- Provide final group presentation.
- Conduct final workshop for reflecting learnings.

After the online activities**6) Post-study assignments: In Mar.**

- **[Self-learning]** Completion report, self-evaluation questionnaire, self-competency check, etc.

* The above schedule or contents may change based on further coordination.

4 Activity Calendar:

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
Feb. 7	8	9	10	11 Japanese holiday	12	13
1) Pre-study Assignments						
14	15	16	17	18	19	20
		2) Orientation and icebreaker	3) Inputs by practitioners and comparative discussions			
21	22	23 Japanese	24	25	26	27
4) Repeated group works and presentations as PBL						
28	Mar. 1	2	3	4	5	6
5) Online Final Presentation and Reflection						
7	8	9	10	11	12	13
6) Post-study Assignments						

References

Further Information on the G-DORM Project and photos of current activities are available on our website and Facebook page. You can find the voices of former participants in the G-DORM Program through the website.

- Website: <http://www.eng.niigata-u.ac.jp/~g-dorm/index.en.html>
- Facebook: <https://www.facebook.com/gdorm.niigata/>

For Further Information:

G-DORM Project Team of Niigata University

International Education Division, Education Center for Engineering and Technology,

Faculty of Engineering, Niigata University

Address: 8050 Ikarashi-2-no-cho, Nishi-ku, Niigata-city 950-2181, Japan, E-mail: g-dorm@eng.niigata-u.ac.jp